



NEWS
LETTER

日本創傷治癒学会

2004.4
No.20

昭和46年(1971年)7月、慶大耳鼻咽喉科鈴木安恒先生と病理学細田泰弘先生そして東京電力病院外科藤城保男先生らが始められた創傷治癒に関する勉強会が本学会のルーツです。当時の研究会プログラムを別表にお示しします。第2回から本研究会の前代表世話人をされていた石引久彌先生(当時川崎市立川崎病院手術部)が参加されています。演題名をみると時代の変遷を感じますが、現在でも興味を引くような斬新なテーマも散見されます。その後、塩谷信幸先生(北里大学)や藤野豊美先生(慶大)など形成外科の先生方の参加を得て、本研究会は30年余りの歴史を歩むこととなりました。平成12年12月の第30回総会(恩田昌彦当番世話人)から研究会が発展して学会となり、今年で4年目を迎えようとしています。

日本創傷治癒学会は米国のThe Wound Healing Society、ヨーロッパのThe European Tissue Repair Society、オーストラリアのThe Australian Wound Management Associationなどと良好な連携関係を保ちながら、円滑な活動を行っていますが、とくに米国の創傷治癒研究者とのパイプ役を果たされたのがCalifornia州立大学San Francisco校のThomas K. Hunt教授であります。これまで何回も来日されていますが、第20回研究会(徳島)に来日された際、世話人会の席上、日本創傷治癒研究会の英文名The Japanese Society for Wound Healingを提案され、今日の公式名称となっています。本誌WRRがvolume 12であることからお分かりのとおり、米国に創傷治癒の学術団体が発足して10数年であり、33年の歴史がある本学会がより長い歴史の上に成り立っていることは大いに誇れることと思います。WRRの出版社がMosbyからBlackwellに代わり、前後して本研究会は学会に発展しました。Blackwell社の日本での市場拡大の施策と本学会の活性化の方向性が合致して、広告を含め12ページのニュースレターがWRR誌に毎号掲載されるようになり、今日の編集の形が整いました。

さて、慶大外科では、電撃症(藤城保男先生)、感染症(石引久彌先生)、熱傷・皮膚移植(相川直樹先生)、消化管吻合・微小循環(北島政樹先生・現理事長)などに関する創傷治癒研究が代々行われています。また、食道グループ(安藤暢敏先生・現東京歯科市川病院外科)は、阿部令彦先生指導のもとで、食道切除後の再建胃管における組織酸素分圧の測定や培養食

● 日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学医学部外科学教室内

tel. 03-3353-1211

(内線62269)

fax. 03-3353-2681

e-mail: info@jswh.com

URL: <http://www.jswh.com>

道上皮を用いた人工食道の研究を行ってきました。

ここ数年、私どもは細胞外マトリックスの代謝からみた消化性潰瘍の病態や虚血再灌流障害、消化管の粘膜障害に対する創傷治癒機転に関する研究を進めています。とくに潰瘍の発生要因については、以前から攻撃因子と防御因子のうち、攻撃因子の方向へバランスが崩れると粘膜損傷が形成されると概念的に理解されてきました。それに加え、私どもは消化管粘膜の損傷に対して同時に進行する修復過程が傷害されることにより潰瘍形成に至るという

考え方を提唱し、動物実験でその点を明らかにしてきました。胃グループの吉田 昌先生が中心になって、若い先生たちを指導しています。これらの研究を通じて創傷治癒機転の障害が人体の恒常性の維持にどのように影響し、疾患の病態生理に関わっているかの一端を理解することができます。これからは、教室の若い先生たちの新鮮な興味を引きながら、外科学の礎ともいえるべき創傷治癒の研究を続けていきたいと考えています。

日本創傷治癒研究会 開催記録(第1回～第4回)

■ 第1回(昭46. 7.26 東京・岩波ビル)

・司会のことば

慶應義塾大学医学部 耳鼻咽喉科 鈴木 安恒

・演 題

「含硫化合物と創傷治癒」

東京電力病院 外科 藤城 保男

「創傷治癒と病理」

慶應義塾大学医学部 病理 細田 泰弘

「外科領域」

国立東京第二病院 外科 石山 和夫

国立大蔵病院 外科 大西 英胤

慶應義塾大学医学部 外科学教室 亀田 正

「耳鼻咽喉科領域」

済生会中央病院 耳鼻咽喉科 犬山 征夫

日発病院 耳鼻咽喉科 坂井 真一

横浜市民病院 耳鼻咽喉科 鈴木 理文

■ 第2回(昭47.12. 2 東京・岩波ビル)

・司会のことば

川崎市立井田病院 手術部 石引 久彌

・演 題

「皮膚炎症の修復とPlasma Albuminの動態」

川崎市立井田病院 手術部 石引 久彌

「組織染色からみたGSHの術後創に対する効果」

国立東京第二病院 外科 石山 和夫

東京電力病院 外科 藤城 保男

「口腔粘膜疾患に対するグルタチオンの使用経験」

慶應義塾大学医学部 歯科 平山 堯望

渡辺 文麿

「ラッテ背部皮膚における創傷治癒の生化学的研究」

慶應義塾大学医学部 外科 大管 志郎

石井 良治

東京歯科大学市川病院 外科 田中 豊治

「癒痕と生化学」

慶應義塾大学医学部 形成外科 杉本 智透

平塚市民病院 形成外科

「アルベルト・ランパート二重縫合術の反省

(組織学的検討)」

東京慈恵会医科大学 長尾外科

中村 紀夫	吉田 完
松島 孝雄	田中 義文
坂口 友次郎	岩崎 晃
佐々木 優至	長尾 房大

「消化管吻合部の治癒機転」

- Microangiogram・内視鏡・病理組織像および
Collagenを中心に -

慶應義塾大学医学部 消化器外科

北島 政樹	佐々木 明
落合 正宏	浅野 芳雄
北条 一平	西村 昌幸
熊井 浩一郎	田畑 健久
橋本 正雄	中川 自夫
石井 良治	

慶應義塾大学医学部 病理

笠原 正男 三方 淳男

国立がんセンタ - 病院 外科 丸山 圭一

「頭頸部悪性腫瘍に対する動注療法時の

舌乳頭血管変化について」

慶應義塾大学医学部 耳鼻咽喉科

三宅 浩郷	藤井 一省
小津 雷助	浅岡 一之
大山 征夫	鈴木 安恒

■ 第3回 (昭48.12.4 東京・岩波ビル)

● 演 題

「気道形成の臨床 - 特に組織損傷因子の分析」

大阪大学医学部 第一外科学教室 前田 昌純

「移植肺の気管支吻合部の修復機序に関する

内視鏡的観察」

千葉大学医学部肺癌研究施設外科 嶋田 晃一郎

「肝切除断端の治癒過程」

慶應義塾大学医学部 外科学教室 都築 俊治ほか

「縫合不全例における吻合部治癒遅延因子の検討」

東京慈恵会医科大学 第二外科学教室 田口 義文ほか

「消化管吻合の治癒機転からみた縫合不全の対策」

慶應義塾大学医学部 外科学教室 浅野 芳雄ほか

「肛門部手術創治癒の特異性」

—痔核結紮切除創の治癒とその遅延について—

社会保険中央病院 肛門病センター 高野 正博ほか

「創傷治癒評価のParameterに関する考察」

—Glutathioneの局所投与についての2, 3の知見—

川崎市立井田病院

牛島 康栄ほか

■ 第4回 (昭49.12.7 東京・岩波ビル)

● 演 題

「創傷と外科」

関西医科大学香里病院 外科 毛利 喜久男ほか

「阻血性細胞壊死とライソソーム酵素」

慶應義塾大学医学部 外科 阪口 周吉

「創傷治癒過程の情報処理について」

川崎市立井田病院

牛島 康栄ほか

「創傷治癒研究における異常環境作製法について」

九州大学医学部 第二内科 杉町 圭蔵ほか

「移植肺の気管支吻合部の修復機序に関する

組織学的研究」

千葉大学医学部肺研 外科

嶋田 晃一郎

「肛門部手術創治癒の特異性 その2」

—痔瘻の創治癒とその遅延について—

社会保険中央総合病院大腸肛門病センター 高野 正博ほか

「栄養輸液が小腸吻合部治癒にもたらす

影響について(第一報)」

大阪大学医学部

第一外科

宗田 滋夫ほか

「結腸全摘出後の腸内細菌叢の変化と吻合部における

組織変化について」

日本大学医学部

第三外科

坂田 育弘ほか

「胃壁における創傷治癒過程と

ムコ多糖との関連性について」

信州大学医学部

第一外科

市川 英幸ほか

「食道、胃、小腸、大腸の微細血管構築

(吻合部癒合反応への影響)」

国立がんセンター

外科

丸山 圭一

名誉会員 阿部令彦、阿部力哉、井口 潔、石引久彌、磯野可一、稲山誠一、内田雄三、遠藤光夫、岡田 正、恩田昌彦、掛川暉夫、古味信彦、櫻井健司、塩谷信幸、杉町圭蔵、田中 隆、田辺達三、鶴藤 丞、林 四郎、藤城保男、三島好雄、森 昌造(22名)

特別会員 青木照明、浅野伍朗、岩橋寛治、大浦武彦、加藤紘之、金澤曉太郎、小平 進、嶋田晃一郎、杉立彰夫、隅越幸男、中村輝久、中山一誠、船曳孝彦、細田泰弘、前田昌純、丸山圭一、宮内好正、毛利喜久男、渡辺洋望(19名)

理事 石井壽晴、岡田保典、落合武徳、小野一郎、*北島政樹、黒柳能光、嶋田 紘、(*理事長) 中島龍夫、野崎幹弘(9名)

監事 田井良明、三輪晃一(2名)

事務局幹事 大谷吉秀(1名)

評議員 相川直樹、赤坂喜清、秋田定伯、穴澤貞夫、安藤暢敏、石井壽晴、磯貝典孝、磯本浩晴、市川英幸、岩井武尚、上尾裕昭、上田和毅、上田 実、内沼栄樹、大谷吉秀、大野真司、岡田保典、落合武徳、小野一郎、上石 弘、川上重彦、北島政樹、北野正剛、窪地 淳、熊谷憲夫、黒柳能光、斎藤和好、斉藤聖二、坂本長逸、重森 稔、篠澤洋太郎、嶋田 紘、島田光生、調 憲、白水和雄、鈴木邦夫、鈴木茂彦、須田年生、炭山嘉伸、田井良明、高野邦夫、田澤賢次、田尻 孝、田畑泰彦、徳永 昭、鳥居修平、中島龍夫、永田見生、中西秀樹、西岡 清、野口 剛、野崎幹弘、秦 維郎、畠山勝義、百束比古、平田公一、平林慎一、保阪善昭、松野正紀、丸山 優、三輪晃一、山崎洋次、吉田 昌、吉村陽子(64名)

第1回	昭46. 7. 26	東京	鈴木安恒(慶大耳鼻科)	
第2回	昭47.12. 2	東京	鈴木安恒(慶大耳鼻科)	
第3回	昭48.12.15	東京	鈴木安恒(慶大耳鼻科)	
第4回	昭49.12. 7	東京	阿部令彦(慶大外科)	毛利喜久男(関西医大外科)
第5回	昭50.12.13	東京	阿部令彦(慶大外科)	渡辺洋望(東京医大病理)
第6回	昭51.12.11	東京	阿部令彦(慶大外科)	秋山太一郎(日本医用高分子材料研究所)
第7回	昭52.12. 3	東京	阿部令彦(慶大外科)	三方淳男(慶大病理)
第8回	昭53.12.16	東京	長尾房大(慈恵医大第二外科)	鶴藤 丞(東北大薬学)
第9回	昭54.12.15	東京	林 四郎(信大第一外科)	長谷川正光(国立循環器病センター脈管生理)

会長

特別講演・依頼講演

第10回	昭55.12.13	東京	藤城保男(東京電力病院外科)	横 哲夫(東北労災病院) 林 四郎(信大第一外科) 岡崎 勲(産業医大内科)
第11回	昭56.12.12	東京	森 昌造(岩手医大第一外科)	岡田 正(阪大第一外科) 三島好雄(東大第一外科)
第12回	昭57.12.11	福岡	井口 潔(九大第二外科)	渥美和彦(東大医用電子研究施設)
第13回	昭58.12.10	東京	遠藤光夫(東京女子医大形成外科)	平山 峻(東京女子医大消化器病センター外科)
第14回	昭59.12.1	大阪	岡田 正(阪大第一外科)	Thomas K. Hunt(カリフォルニア大SF外科)
第15回	昭60.12.7	東京	三島好雄(東京医科歯科大第二外科)	永井 裕(東京医歯大難治疾患研究所)
第16回	昭61.10.4	札幌	田辺達三(北大第二外科)	大浦武彦(北大形成外科)
第17回	昭62.11.21	福島	阿部力哉(福島県立医大第二外科)	田辺達三(北大第二外科)
第18回	昭63.12.3	東京	櫻井健司(慈恵医大第一外科)	塩谷信幸(北里大形成外科)
第19回	平元.12.2	久留米	掛川暉夫(久留米大第一外科)	
第20回	平2.12.1	徳島	古味信彦(徳島大第一外科)	市原 明(徳島大酵素科学センター)
第21回	平3.11.30	名古屋	中島龍夫(藤田保健衛生大形成外科)	清水慶彦(京大生体医療工学研究センター)
第22回	平4.12.5	横浜	塩谷信幸(北里大形成外科)	Frederick Grinnell(テキサス大)
第23回	平5.12.4	山形	鷲尾正彦(山形大第二外科)	Gere S. diZerega(南カリフォルニア大)
第24回	平6.11.12	千葉	磯野可一(千葉大第二外科)	新海 滋(千葉大皮膚科)
第25回	平7.12.2	東京	田中 隆(日大第三外科)	野崎幹弘(東京女子医大形成外科)
第26回	平8.12.7	福岡	杉町圭蔵(九大第二外科)	上尾裕昭(大分県立病院外科)
第27回	平9.12.6	東京	石引久彌(国立埼玉病院外科)	
第28回	平10.12.5	大分	内田雄三(大分医大第二外科)	David J. Smith(ミシガン大メディカルセンター)
第29回	平11.12.4	東京	中村紀夫(慈恵医大柏病院救急診療部)	矢永博子(久留米大形成外科) William J. Lindblad(ウェインステート大)
第30回	平12.12.8,9	東京	恩田昌彦(日本医大第一外科)	Thomas K. Hunt(カリフォルニア大) Adrian Barbul(ジョンズホプキンス大) 黒川高秀(昭和大)
第31回	平13.12.6,7	東京	野崎幹弘(東京女子医科大形成外科)	岡野光夫(東京女子医科大学先端生命医科学研究所) William J. Lindblad(ウェインステート大)
第32回	平14.12.5,6	福岡	田井良明(久留米大学医学部形成外科・顎顔面外科)	清水慶彦(京大再生医科学研究所臓器再建応用分野) 高岡邦夫(大阪市立大学大学院医学研究科整形外科)
第33回	平15.12.9,10	千葉	落合武徳(千葉大先端応用外科学)	Marco Romanelli(ピサ大) Courtney Lyder(ヴァージニア大)

第34回 日本創傷治癒学会のご案内(第1次)

第34回日本創傷治癒学会 会長 三輪晃一教授
(金沢大学大学院医学系研究科がん局所制御学分野)

第34回日本創傷治癒学会を下記の通り、開催いたします。
会員の皆様の多数ご参加をお願い申し上げます。

会 期：平成16年 11月29日(月) ~ 30日(火)

会 場：石川県文教会館: <http://www.bunkyo.or.jp/>

〒920-0918 金沢市尾山町10-5

JR金沢駅よりバス10分(南町下車 / 徒歩2分)

JR金沢駅よりタクシー8分

連絡先：第34回 日本創傷治癒学会事務局

住 所：〒920-8641 金沢市宝町13-1

金沢大学大学院医学系研究科がん局所制御学内(外科学第二)

Phone: 076-265-2362

Fax. : 076-234-4260

E-mail: rieyama@surg2.m.kanazawa-u.ac.jp